

『極楽誓願』

学問・修行ともに成就したラーガ・アーシャ（カルマ・チャクメ）

これこそチャクメ修行体験の宝庫。手でも努めて書いた。多くの益あろうと思う。本[の伝承]を失くしたくなくば本を[人に]貸そう。これより効能大きい法はない。これより深い教戒はない。我が法の根本だ。いいかげんに放っておかず修行に努めよう。これは顕経流だから口承(ルン)を得ずに唱えてよい。

おお！　ここから太陽が西に向い無数の多世間を超えた少し上の聖なる地に清浄な国土、平安な所。わが肉眼で見えずも本来の心は照らし出すから意識にはっきり思い描こう。

そこで勝者・世尊阿弥陀はルビー色でキラキラ輝き、頭頂に肉髻、足に輪など三十二相八十種好で装う。

一面二腎で入定なさり行鉢体を持つ。三つの法衣を召し結跏趺坐で、千弁の蓮と月の座の上で菩提樹にお身体をもたれ、慈悲の眼で遠くから私をご覧なる。

右に観音、身色は白、左手は白蓮を持つ。左に大勢至、青で金剛標す蓮華を左手に、両者右手の施無畏印を私に見せ、

三主は山王スメルのように鮮やか明朗で明断、菩薩である比丘億万の従者も皆、金色、相好で飾られ、三種の法衣を召し、黄金色に満つ。

恭敬礼拝に遠近の違いは無い。ゆえ我が三門で[諸尊を]敬い礼拝します。

法身・無量光仏の右手光線より化身した観自在、[その化身から]さらに化身した百億の観自在。左手の緑色光線より化身したターラーさらに化身した百億ターラーが分かれ、お胸の光線より化身した蓮華生。さらに化身した百億のオーギェンが分かれる法身阿弥陀に礼拝します。

仏眼で昼夜六度、有情一切を慈悲により常にご覧なる。有情一切の心に湧き起こる分別の動きを常にお心でお知りになり、有情一切が口で述べた言葉を常に混乱なくそれぞれお聞きになる一切智阿弥陀に礼拝します。

「法を断じ無間業を為す以外、あなたを信じ誓願を立てる限り全て、かの極楽に生まれる誓願が叶う。中有に出現し、かの極楽浄土に一瞬で導く」と説かれる導師阿弥陀に礼拝します。

あなたの御寿命は無数劫も涅槃せず今も現に居られます。あなたを一心に敬って祈願すれば「業の報いを除き、寿命が尽きても[さらに]百年 [の寿命を]得、時ならぬ死を余さず除く」と説かれる守護者無量寿に礼拝します。

遍満し[その]数、無量な三千世界を宝で満たし施すより、阿弥陀の御名と極楽を聞き信じ合掌したなら、それは無量な施しより福德

が大きいと説かれる。ゆえに阿弥陀を敬って三門で礼拝します。

誰か阿弥陀の御名を聞き、裏表なく心の中、骨の髄まで一度でも信を起こせば、彼は菩提道から不退転になる守護者阿弥陀！あなたを礼拝します。

阿弥陀仏の御名を聞けば女に生まれず、素晴らしい家系に生まれ諸世一切に戒律清浄になる。善逝^{ぜんせい}阿弥陀を礼拝します。

自分の身体と共に所有物、つまり現実に所有する供物である持てるもの、心で化作した吉祥物、吉兆、七宝、元より成り立つ三千世界の四州、スメル山、日月百億、天・龍・人の所有物一切を意識で捉え、阿弥陀に捧げます。自分を利するために力で御受けください。

父母を筆頭に私など全有情が始まりのない時から今まで [為した] 殺生^{ちゆうとう}・偷盗^{ちゆうとう}・非梵行^{ほつろんげ}という身体^この三不善を発露懺悔します。嘘や両舌、悪口^き、綺語^ごという言葉の四不善を発露懺悔します。食欲心、害心、邪見という意の三不善を発露懺悔します。

父・母・戒師・羅漢殺しや、勝者の身に悪意を起こす五無間の悪業を積んだことを発露懺悔します。

比丘・沙弥殺しや、尊女下し、御姿・仏塔・仏殿を壊すなど準五無間業の罪を為したことを発露懺悔します。

三宝・本堂・仏像・経典・仏塔などを証人として証^{あかし}を立て、[その]

誓いを無にするなど法を断じる悪業を積んだことを発露懺悔します。

三界の有情を殺すよりも大きな罪惡、諸菩薩を見くびる無意味で大きな罪を積んだことを発露懺悔します。

善の効能と惡の禍、地獄で苦しむ寿命[の長さ]などを聞いても「虚妄な迷信程度」と思うのは、五無間業よりも酷い惡業、解脱できない惡業を積む。それを発露懺悔します。

波羅夷罪と十三僧残と三十捨墮しやだと、四自悔じけと、惡作おさの五種の別解脱戒を破ったことを発露懺悔します。

四黒法、五墮罪、五・八近根本墮罪の菩薩戒を犯したことを発露懺悔します。

十四根本墮罪、支分の八麁しやだなど秘密真言のサマヤ破りを発露懺悔します。

受戒せずも不善業を為した非楚行や、飲酒などの本質的惡の(口にはするのぼもから憚れる)罪、つまり罪を罪と知らなかったことを発露懺悔します。帰依の律儀や灌頂などを得ても、それら律儀・聖誓を守ることが知らないのは、制定された墮罪に触れる。それを発露懺悔します。

後悔が無ければ懺悔しても清まらないから、かつて為した罪惡を体内に毒があるように恥じ恐れ怖がり大いに後悔し懺悔します。

[それでも]以後抑える心が無ければ清まらないから、以後命を落としても不善業を今から為さないと心に堅く誓います。

菩薩を伴う善逝阿弥陀たちによって自相續が完全に浄化される加持がなされますように!

「他人が善を為すを聞いて、それを妬み喜ばぬ心を断じ、心から喜び随喜すれば、その福德は等しく得られる」と説かれます。

それゆえ聖者方と凡夫が何か善を成し遂げた全てに随喜しよう。

[諸仏が]無上最勝菩提に発心されてから広大な有情利益なさに随喜しよう。

十不善を断じる十善。[つまり]他の有情の命を救う、施し喜捨する、律儀を守る、真実を語る、恨みを調停する、和やか正直に話す、意義のある話を述べる、少欲、慈しみと憐れみを修習し、法を行じる諸善全てに随喜しよう。

広大無辺な十方世界一切で正覚されて久しからぬ彼の方々に「広大な大法輪を速やかに転じてください」と自分で勧請し、それら(勧請)の意味に神通の御心でお気づきになりますように!

仏菩薩、教えの護持者・善友で涅槃をお望みになられている彼の方々すべてが涅槃せず居られますように!

以上で代表される我が三世の善の総体をあらゆる生き物のために廻

向しよう。

あらゆる有情も無上の正覚を速やかに得て、三界輪廻を^{さら}凌い出し[輪廻が空になり]ますように！

その善が自分に今生で直ぐ報い、十八死を鎮め病なく気力満ち、力を身に備え、夏のガンジス河のように豊かで尽きることなく、魔・敵の害無く行じ、思うことすべてが法を備え、思う通りに成り、教えと生き物に利益を大いにもたらす人身が有意義になりますように！

自分と自分に関わり有るすべてがこの世から転生したとたん、比丘の僧団に取り巻かれた化身の阿弥陀仏が、目の前にありありと来迎されますように！

彼を観て心地良い現れがあり、死の苦しみ無きように！

八兄弟菩薩が^{じんべん}神変の力で虚空に来迎し極楽に行く道を示し道先を案内してくれますように！

悪趣の苦は耐え難い。人天の快樂は無常に変わる。それらを恐れる心を起こしますように！

始りのない時から今までこの輪廻は悠久。それへの厭いを[私が]起こしますように！

人から人へと生まれても生老病死を無数に味わう。悪い時代、^{じよくせ}濁世

には障害が多い。この人天の快樂の現れにも毒の混じった食のように望むことは毛ほども無くなりますように！

無常な幻や夢のように、近親、食、宝、盟友たちへの愛著は毛ほども無くなりますように！

偏愛する土地や部屋を夢の中の部屋のように実在しないと知りますように！

大罪人が監獄から抜け出すように逃れられない海のような輪廻から西方極楽浄土へ振り返らず逃れられますように！

愛著の絡まり全てを断ち切って、鷲が網から抜け出すように西方の虚空に無数の世界を一瞬で飛び抜け極楽へ着きますように！

そこに阿弥陀仏が目の前に居られ尊顔を観て一切が清まりますように！

四生の最高、花である蓮の花心かしんに化す生かを取れますように！

その一瞬で身体全うし、相好を備えた身体が得られますように！

[浄土に]生まれぬ [のではないか] と恐れ疑って五百年間その[蕾の]中で快樂享受が有り、仏のお言葉が聞こえても花の蕾は開かず、仏の尊顔にまみえるのが遅れる欠点。そのようなことが自分に起こりませんように！

生まれたとたん蓮華が開いて阿弥陀の尊顔にまみえますように！

福德の力と神変によって手のひらから供養の雲を思慮を超えて出し
従者を伴う仏に供養しますように！

その時、かの如来が右手を伸ばして頭に置いて菩提の授記を得られ
ますように！

甚深と広大な法を聞いて自相續が熟し解脱しますように！

観音と大勢至、菩薩・聖仙二主によって加持され受け入れてくださ
りますように！

毎日のように計り知れない十方の仏と菩薩が阿弥陀を供養し、かの
浄土を見るために訪れる時、彼らすべてを奉仕し、法の甘露を得ら
れますように！

融通無得な神変で歓喜国や、吉祥国や、円満業国や、密厳に午前行
って、そこで阿闍、宝生、不空成就、大日などの仏に、灌頂と加持
・律議を伺って、多くの供物を供養して、夜半に極楽に難なく着け
ますように！

ポタラ山やアタカヴァティやチャーマラ州と、ウディヤーナダキニ
の国、化身の浄土数百億に観音と至尊ターラーと、金剛手とパドマ
サンバヴァ百億にまみえ、海のような供物で供養し、灌頂と甚深な
教戒を伺って速やかに自分の所、極楽浄土へ融通無碍に行けますよ

うに！

古い近親や僧、弟子などを天眼で明らかに観て、守り救い加持し、死の時、かの浄土に導くことができますように！

この賢劫の劫の長さは極楽の一日。〔その極楽の〕無数劫、死も無い恒常なかの浄土を取りますように！

弥勒から勝解仏まで、この賢劫仏がこの娑婆世界に出現される時、神変の力でここに来て仏を供養し聖なる法を聞いて再び極楽浄土へ融通無得に行けますように！

八十一百千億万仏国土全ての功德の莊嚴一切を一つに合わせ、浄土全てより殊に聖なる無上な、かの極楽浄土に生まれますように！

宝の地面は手のひらのように平らか明瞭で、光線が敗しく、押せば凹み、引き上げれば持ち上がる。楽でなめらか軽妙な、かの浄土に生まれますように！

多彩な宝から成る如意樹。葉は金欄きんらん緞子・果実・宝で飾られ、その上に化現した鳥類は心地よい声で甚深と広大な法音の調べが響き渡らせる大変驚くべきかの国に生まれますように！

香水の河は八功德水に潤い溢れ、同じく甘露の浴池も七宝階梯とレンガで囲まれ。良い香りの実を持つ蓮華、蓮から計り知れない光と光線が放たれ。光線の先は化仏で飾られる驚くべきかの国土に生ま

れますように！

八無暇・三悪趣という言葉が響かない、煩惱の五毒や三毒・病や悪
霊・敵や、欠乏困窮・争いなど苦一切はかの国土で聞かない、かの
極楽浄土に生まれますように！

女無く子宮から生じず、全て蓮の花の蕾からご誕生され一切のお身
体・身体の違いなく、金色で頭に肉髻にっけいなど相好で飾られ、五神通・
五眼も全てお持ちの計り知れない功德のかの浄土に生まれますよう
に！

天然の様々な宝石でできた無量宮、望むまま財物も心に浮かべば手
に入り、努めて作る必要なく、要るもの望みのものも自然に成り立
ちます。「私とあなた」も無く、我と捉えることもありません。何
か望みの供養の雲も手のひらから生じ一切が無上大乗の法を享受し
平安快適な一切が起こるかの浄土に生まれますように！

芳かぐわしい風で大いに花吹雪が降りそそぎ、木や河一切から意に合った
[美しい] 姿、音、香り、味、触感を享受する供養の群雲むらぐもが常に生
じます。女は居なくても化現した天女の集団、供養の天女多くが常
に供養します。

居ようと望む時は宝の無量宮、寝ようと望む時は宝の寝台の上で多
くの金欄しよわ緞子の褥、枕や木々、河、楽器など聞きたいと望む時は妙
なる法音の響き、望まない時は耳に音さえも響かない。甘露の池や、
それら河も温かさ冷たさ何か望む通り生じ、意のままに叶うかの浄

土に生まれますように！

かの浄土に正覚者阿弥陀が無数劫湿繫されずに居られる限り、お仕えできますように！

いつかかの阿弥陀が寂靜に逝かれ、ガンジス川の砂の二倍の数ほどの劫に渡って教えが存続する時、代理である観音と離れず、その間法を護持できますように！

初夜に聖なる法が消滅し夜明けにかの観音が現等覚して、
こうみょうふしぜんしやくとくおう
光明普至尊積徳王という方になる時、お顔を拝し供養し聖法を聴聞しますように！

ご寿命六十六億万劫居られる時、常にお仕え奉仕し、忘れない記憶力によって聖法を護持できますように！

湿繫して、その教えは六億三千三十万劫に渡って存続する、その時、法一切を護持し大勢至と常に離れませんように！

それからかの大勢至が覚ってぜんじゆうみょうほうせんのう善住妙宝山王如来と成り、寿命と教えは観音と同じ。その仏に常にお仕えし、供物で供養し、聖なる法を護持できますように！

それから自分が[覚る]時、それが入れ変わったとたん、かの浄土で、あるいは他の浄土で無上正覚を得ますように！

かの正覚を為して、アミタユスのように御名を聞いただけで生き物

すべてが成熟し解脱し、無数の化身で世界を導くなど意図せず自然に計り知れない有情利益を為しますように！

如来のご寿命、福德と功德、智、威光無限。法身無量光、阿弥陀、寿命と智慧が計り知れないアミタユス。「あなたの御名いずれかを誰か護持する者は、過去の業の報い以外、火や水や毒や剣、夜叉や食人鬼などの恐れ全てから救うことができる」と説かれます。「私はあなたの御名を心留め拝します。恐れと苦全てから救ってください」と申し上げます。めでたく円満に加持なされますように！

仏の三身を得て平等な加持と、法性の変わらない真実の加持と、僧の分かたない和合の加持で、誓願が立てた通り叶いますように！

三宝を拝します。 タニャタ、パンチャンドリヤ アヴァボダナヤ
ソワハ

三宝を拝します。 ナモー マンジュシュリエー ナモー スシ
ュリエー ナマ ウッタマシュリエー

「上はこれを〔一生〕断たない。中は数年数ヶ月断たない。最低でも暇のある時、西を向いて極楽浄土を思い起こし、阿弥陀に手を合わせて信じ一心に唱えたなら、今生で寿命の障害を除き、後生に極楽に生まれることは疑いありません。なぜなら『無量寿経』『法華経』『鼓音声王』などの御心だからです」とビク・ラーガ・アーシャ(カルマ・チャクメ)が編んだ。これが世界の多くの有情極楽往生の因となりますように。